

肺臓の病気(II)

今回は肺癌の話です。近年肺癌は増加し、平成16年には男性は約4万1千人と死亡原因のトップ、女性は1万6千人で第三位です。

肺癌はほとんどが固形の腫瘍です。周囲の肺組織とは区別されるためにCT検査（昭和50年に臨床応用）によりその存在診断が可能です。しかし、健康診断で全員にCT検査を行うことは不可能であり、胸部レ線検査により疑わしい病変に対しCT検査が行われます。肺の中心部に生じる場合には心臓の影と重なり、早期の発見は困難です。周囲の肺野の病変は発見され易く、早期にCT検査が行わ



東陽病院院長
伊藤 文憲

れています。

CT検査では肺内に異常な影を発見する例は増加しています。大きさが5mm以下の場合には良性と悪性の正確な診断は困難で、経過観察して大きくなるようなら精密検査や手術を考慮します。主治医の指示を守ることが大切です。

肺癌の診断はCT検査等の画像診断が診断の入り口です。集団健診として、喀痰の中の細胞を特殊な染色をして調べる、細胞診という方法もあります。しかし、確定診断の為に組織診断が必要です。昭和40年に日本において気管支内視鏡検査が開発され、直視下に生検検査を行い診断が可能となりました。最近ではより細径の電子内視鏡が開発されています。内視鏡の入らない狭い部位に関しては、CTで観察しながら、肺を体外から穿刺して組織を採取することも行われています。肺癌の治療法は外科的な切除が中心です。早期発見が最も重要な事です。以前は胸を

大きく開き、周囲のリンパ腺を郭清する手術が主体でしたが、最近では腫瘍の局在部位が術前に正確に判明することから縮小手術や、胸腔鏡を用いた低侵襲の手術が行われるようになり、術後の回復に貢献しています。

癌の進行により手術不可能な例や多臓器疾患により手術が困難な例では、放射線治療が行われています。昭和35年以降はコバルト照射が、最近ではリニアックによる照射療法が行われています。手術不能例に対する抗がん剤の治療も進歩しています。有効な抗がん剤の開発により長期生存例も増えていますが、副作用の増加も見られています。肺癌の専門施設での治療が必要です。

肺癌に関する一番の問題はその予防です。各種の危険因子が研究されています。その最大のもは「たばこ」です。禁煙が最も有効です。本人以外からの受動喫煙による発がんの報告もあります。たばこ以外でも多くの危険因子があります。車による排気ガスや工場などによる環境汚染、最近では石綿・アスベストによる肺癌の報告もあります。被曝の可能性のある場合には精

密健診が必要です。
◆お知らせ

※救急当番日
9日(日)、30日(日)午前8時30

分午後5時15分
医師2名が待機。来院の際は
お電話を
☎1335

東陽病院 外来日程表

平成18年4月1日現在

診療科	午 前 の 部							午 後 の 部			
	受付 午前8時15分～11時30分 (土曜日は11時まで)							受付 午後1時～午後3時			
	診察開始 午前9時～						午前10時30分～	診察開始 午後1時30分～			
曜日	内 科	外 科	整形外科	婦人科	泌尿器科	脳神経外科	乳腺・甲状腺	皮膚科	眼 科	耳 鼻 咽喉科	
月	呼吸器 千葉大	(院長) 伊 藤	古 川	田 内	伊地知				千葉大	武 宮	
火	森 居	鈴 木	前 田	田 内	伊地知	佐 藤	大 屋				
水	高 橋	(院長) 伊 藤	千葉大	田 内	伊地知				千葉大	武 宮	
木	循環器 千葉大	(院長) 伊 藤	前 田	田 内			前 田	千葉大			
金	森 居	鈴 木	古 川	田 内 第2・4休診	伊地知					武 宮	
土	高 橋		古 川		伊地知						

※第2・第4土曜日は休診です。
※日程は、変更となる場合もあります。

住所 山武郡横芝光町宮川12100 電話(84)1335 FAX(84)2882
URL: www4.ocn.ne.jp/~toyohp/